

安全データシート(SDS)

改訂日:2025/5/19

1. 化学品及び会社情報

製品名称と記号	導電溶接棒(R-2)
会社名	矢崎エナジーシステム株式会社
住所	静岡県沼津市大岡2771
担当部署	分岐エンジニアリング部
電話番号	055-925-6128
FAX番号	055-923-8519

2. 以降は別紙参照

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019

改訂日 2025-5-19
改訂番号 2

1. 化学品及び会社情報

製品の名称 導電溶接棒 (R-2)

登録番号 NISSHO-0062

安全データシートの供給者の詳細

会社名

日祥株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-3-1 NBF神田須田町ビル5階
TEL: 03-5294-1300
FAX: 03-5294-1350

緊急連絡電話番号 03-5294-1300

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 プラスチック加工品原料

使用上の制限 医療用途には使用しないでください 食品添加物用に使用しないでください

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム (GHS) による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性 (吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性 (吸入) - 粉じん / ミスト	分類できない
皮膚腐食性 / 刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

該当しない

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

注意書き

安全対策

- ・ 該当しない

応急措置

- ・ 該当しない

保管

- ・ 該当しない

廃棄

- ・ 該当しない

他の危険有害性

皮膚に接触すると有害のおそれ。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
Chloroethene polymer[PVC]	9002-86-2	44-45	既存	(6)-66	既存	(6)-66
炭酸カルシウム	471-34-1	22-23	既存	(1)-122	既存	(1)-122
Diisononyl phthalate [DINP]	68515-48-0	22-24	既存	(3)-1307	既存	(3)-1307
Organic Compounds	－	2.5-4	情報なし		既存	
stabilizer, pigment	－	5-10	情報なし		情報なし	

4. 応急措置

吸入した場合

蒸気又は分解生成物を吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。

皮膚に付着した場合

溶融製品に接触した場合には、直ちに冷水で皮膚領域を冷やすこと。凝固した物質を皮膚から取り除こうとしないこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

中枢神経及び呼吸機能の低下。熱傷。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水を使用してはならない。粉末消火剤又は二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	情報なし。
特有の危険有害性	情報なし。
特有な消火方法 大規模火災	水噴霧又は水霧が望ましい: 水が使用できない場合は粉末消火剤、CO2又は通常の泡消火剤を使用すること。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者のための特別な保護	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。放置すると、踏んで滑りやすい。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	空容器を再利用しないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気・全体換気	8項の局所排気・全体換気を行うこと。
安全取扱注意事項	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。静電気に対する予防措置を講ずること。取扱い時、腰痛に注意する。
混触危険物	10項の反応性、避けるべき条件、混触危険物質を参照のこと。
衛生対策	休憩前及び作業後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	乾燥した涼しい場所に、熱源になり得るもの、裸火、日光又は他の化学物質から離して保管すること。
容器及び包装材料	元の容器中に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会およびACGIHともに、当該製品の許容濃度を定めていないが、次の値を適用するのが妥当と考えられる。
------	---

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Chloroethene polymer[PVC] 9002-86-2	－	－	TWA: 1 mg/m ³ respirable particulate matter

生物学的職業性ばく露限界値	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない
---------------	---

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
------	------------------------

環境ばく露防止	情報なし。
---------	-------

保護具

呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。化学防護手袋（JIS T 8116）。
眼及び／又は顔面の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	ペレット
物理状態	固体
色	ベージュ
臭い	非常にわずかな臭い

特性	値	備考 ・ 方法
融点 / 凝固点	データなし	

沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	難燃性(酸素指数約45)
燃焼又は爆発の上限/下限	
爆発又は可燃の上限界	データなし
爆発又は可燃の下限界	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	220 °C 428 °F
pH	データなし
粘度	
動粘性率	データなし
動的粘度	データなし
水への溶解度	水に不溶
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	
相対密度	1.5 @ 20 °C
蒸気濃度	データなし
かさ密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	
粒径	
粒径分布	

その他の情報

10. 安定性及び反応性

反応性	安定。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	取扱い温度は分解温度以上を避けること。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	塩化水素。
爆発データ	
静電放電に対する感度	情報なし。
機械的衝撃に対する感度	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	13,043.30 mg/kg
ATEmix(経皮)	4,044.40 mg/kg
ATEmix(吸入 - 粉じん／ミスト)	6.07 mg/l

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
炭酸カルシウム	= 6450 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rat)	> 3 mg/L (Rat) 4 h
Diisononyl phthalate [DINP]	> 10000 mg/kg (Rat)	> 3160 mg/kg (Rabbit)	> 4.4 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

症状 情報なし。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 皮膚に接触すると有害のおそれ。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性／刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 加熱時に発生したガス、ミストが目刺激を与える可能性。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC	がん原性に係る指針対象物質
Chloroethene polymer[PVC] 9002-86-2	－	Group 3	

凡例

国際がん研究機関

グループ3－ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
Diisononyl phthalate [DINP]	EC50: >2.8mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =0.42mg/L (96h, Ictalurus punctatus) LC50: >0.16mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: >0.19mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: >0.14mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: >0.17mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	EC50: >0.086mg/L (48h, Daphnia magna)

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
Diisononyl phthalate [DINP] 68515-48-0	9.7

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

内分泌かく乱物質情報

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装

空の容器は、認可を受けた廃棄物取扱い施設に搬入して再利用又は廃棄しなければならない。。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)			23	第1種指定化学物質	1-396	355

* 政令名称を参照

労働安全衛生法

該当しない

表示対象物質

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
Diisononyl phthalate [DINP]	68515-48-0	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合しない
DSL/NDSL	適合しない
EINECS/ELINCS	適合しない
化審法インベントリ	適合しない
IECSC	未収載
KECL	適合しない
AIIIC	適合しない

凡例:

- TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
 ENCS - 化審法既存物質
 IECSC - 中国現有化学物質名録
 KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
 AIIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ

16. その他の情報

改訂日 2025-5-19

改訂番号 2

改訂記録

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8:ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	STEL	STEL(短時間ばく露限度)
天井値	最大限界値	Sk*	経皮吸収
+	感作性物質		

凡例

IMDG	国際海上危険物(IMDG)	ADR	陸路による危険物品の国際輸送に関する欧州協定
IATA	国際航空輸送協会(IATA)		

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)
 米国環境保護庁ChemViewデータベース
 欧州化学品局
 欧州食品安全機関(EFSA)
 米国環境保護庁
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
 米国環境保護庁高生産量化学物質
 フードリサーチジャーナル(Food Research Journal)
 危険有害性物質データベース
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)
 日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせ使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。